

クロイドン校舎

危機管理マニュアル（不審者対応編）

作成日：2025 年 5 月 21 日

作成責任：ロンドン補習授業校（クロイドン校舎長）

対象：全職員・保護者

目次

1. はじめに
2. 危機管理の基本方針
3. 不審者対応の手順
4. 教室内での対応（立てこもり）
5. 校外（グラウンド）にいる場合の対応
6. 解除手順
7. 事後対応と報告
8. 補足事項

1. はじめに

本マニュアルは、クロイドン校舎において万が一不審者が侵入した場合に、児童生徒・保護者・職員の安全を確保するための対応手順を定めたものである。全職員・関係者は日頃より本内容を理解し、緊急時に迅速かつ冷静に行動できるよう備える。

2. 危機管理の基本方針

- 子どもたちの安全が最優先。
- 不審者と物理的接触はしない。
- 情報共有と迅速な連絡体制を重視。

3. 不審者対応の手順

■ 出入口の制限

1. 校舎への登校時の出入り口は一か所に限定。
2. 常時セキュリティ担当者を配置。
3. 校舎に入る際は全員 ID カードの提示を義務付ける。

■ ID カード未所持の不審者への対応

- 校舎内に侵入した場合、口頭で退出を求める。
- 身体的接触は厳禁。
- 安全確保（自身・周囲・児童生徒）が最優先。

■ 不審者発見時の通報

- 不審者に気づいた者(職員・ウォッチング当番など)は距離を取り、ただちに警察「999」へ通報。※通報の際の文言例は別紙参照
(通報時、万が一の際にはトランシーバーを使用し、職員、他の保護者と連携して対応することも可能。英語での通報が不安、携帯がつかないなど、万が一の際にはトランシーバーにて応援を要請する。)

■ 職員間での報告

- トランシーバーにて全職員・ウォッチング当番に迅速に報告。
- 内容：侵入場所・人数・身体的特徴などを簡潔に。

■ 全校への伝達

- 笛・口頭・トランシーバーなどで校舎内全体に伝達。
- 生徒の誘導や立てこもり対応を指示。

4. 教室内での対応（立てこもり）

- ドアを閉め、電気を消灯。
- 出入口に机や椅子を使ってバリケードを設置（可能な範囲で）。鍵のある教室は施錠も行う。
- 生徒を教室奥に避難させ、静かに待機。
- トランシーバー等を通じて状況を把握し、警察の到着を待つ。

5. 校外（グラウンド）にいる場合の対応

- 職員・ウォッチング当番は不審人物に気付いたらトランシーバーにて連絡。
※基本的には不審者対応の手順と同対応を行う。
- 職員・ウォッチング当番は不審者の位置を警戒しつつ、児童生徒を速やかに教室等に誘導。
- 安全な場所で立てこもり、警察の到着を待つ。

6. 解除手順（事態収束・安全確保時）

- 校内に向けて口頭・トランシーバー・拡声器で解除を通知。
- 各保護者へ連絡し、引き取り方法・下校方法を案内。
- 児童生徒への心理的ケアにも配慮。
※状況に応じて、海外子女教育振興財団のオンライン相談やメール相談を紹介する。

7. 事後対応と報告

必ず記録を取っておき、校長から報告部門へ速やかに報告を行う。
今後の再発防止に活かすため、事後検証を行う。

8. 補足事項

- 年に一度、不審者対応訓練を実施予定。
- 本マニュアルは HP に載せ、周知を徹底する。